

コスモ石油株式会社

2012年度第1四半期決算説明

2012年8月2日
取締役常務執行役員 宮本 諭

1 2012年4月～6月期の収益状況は、石油開発事業が収益を下支えする一方、石油事業においては石油製品マージンが前年同期比で悪化、在庫評価を除く経常損失6億円を計上した。

2 足もとの状況を鑑み、一旦、保守的に繰延税金資産を取り崩したことが大きく影響し、純損失667億円を計上した。繰延税金資産に関しては、今後の収益状況を確認しつつ、四半期ごとに見直しを行う。

3 2012年6月28日に発生したアスファルト漏洩事故の原因究明を事故調査委員会にて行っており、千葉製油所の稼働計画への影響は精査中。通期業績への影響についても精査していることに加え、原油価格の動向が不透明なこともあり、現時点では業績予想の修正を行わない。

(単位:億円)

	12年度 第1四半期	11年度 第1四半期	前年同期比
売上高	7,557	7,153	404
売上原価	7,471	6,544	927
販管費	300	313	△ 13
営業利益	△ 214	296	△ 510
営業外損益	△ 5	17	△ 22
経常利益	△ 219	314	△ 533
特別損益	1	△ 58	59
法人税等	426	113	313
少数株主利益	23	12	11
四半期純利益	△ 667	130	△ 797

【参考】

在庫評価の影響	△ 213	226	△ 439
在庫評価除き 営業利益	△ 1	70	△ 71
在庫評価除き 経常利益	△ 6	88	△ 94

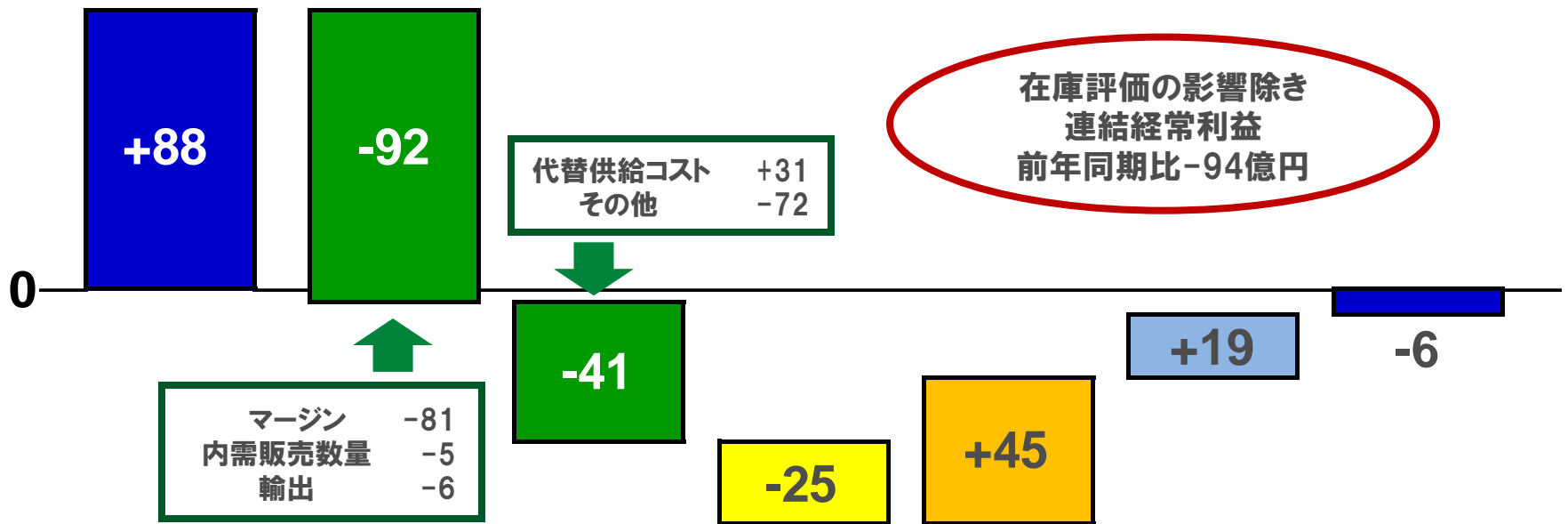
	12年度1Q実績	11年度1Q実績	前年同期比
連結経常利益	△219億円	314億円	△533億円
在庫評価の影響(※)	△213億円	226億円	△439億円
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	△6億円	88億円	△94億円
受入原油価格 為替	原油: 116.45\$/B 為替: 81.48円/\$	原油: 111.96\$/B 為替: 82.05円/\$	原油: 4.49\$/B 為替: △0.57円/\$

連結経常利益 セグメント別内訳

	12年度1Q実績	11年度1Q実績	前年同期比
石油事業	△388億円	184億円	△572億円
石油事業 (在庫評価影響除き)	△175億円	△42億円	△133億円
石油化学事業	△11億円	14億円	△25億円
石油化学事業 (在庫評価影響除き)	△11億円	14億円	△25億円
石油開発事業	177億円	132億円	45億円
その他	3億円	△16億円	19億円

※在庫評価の影響 石油事業:△213億円

単位：億円



在庫評価の影響除き
連結経常利益
前年同期比-94億円

マージン -81
内需販売数量 -5
輸出 -6

代替供給コスト +31
その他 -72

2011年度
10実績

2012年度10実績

在庫評価
除き
経常利益

石油事業
マージン・販売数量
その他

石油化学
事業

石油開発
事業

その他

在庫評価
除き
経常利益

単位:億円

	実績 (12年6月末)	前期末 (12年3月末)	増減
総資産	15,334	16,751	△ 1,417
純資産	2,649	3,374	△ 725
自己資本	2,421	3,169	△ 748
自己資本比率	15.8%	18.9%	3.1ポイント悪化
有利子負債	7,617	7,212	405
有利子負債依存度	49.7%	43.1%	6.6ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	3.1	2.3	0.8ポイント悪化
ネット有利子負債※	6,535	5,988	547
有利子負債依存度	42.6%	35.7%	6.9ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	2.7	1.9	0.8ポイント悪化

※有利子負債総額から現預金および短期運用資金残高を控除したもの

補足資料

- P6 : 【12年度1Q実績】 販売数量
- P7 : 【12年度1Q実績】 原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量
- P8 : 【12年度1Q実績】 セグメント別実績：前年同期比
- P9 : 【12年度1Q実績】 連結 設備投資の概要
- P10 : 【12年度1Q実績】 人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移
- P11 : 【ご参考・12年度通期業績予想】 セグメント別予想および原油・為替前提・感応度
- P12 : 【ご参考】 軽油輸出の実績・マージン環境
- P13 : 【ご参考】 石油化学事業 アロマ市況①
- P14 : 【ご参考】 石油化学事業 アロマ市況②

※最新の「データブック」および「用語集」は以下URLのIRサイトに掲載しています。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/financial/index.html>

(千KL)

		2012年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比
内需燃料油	ガソリン	1,428	1,443	△ 15	99.0%
	灯油	274	314	△ 40	87.3%
	軽油	1,103	1,075	28	102.7%
	A重油	436	476	△ 40	91.6%
	4品計	3,242	3,308	△ 66	98.0%
	ナフサ	1,329	1,542	△ 213	86.2%
	ジェット	92	110	△ 18	82.9%
	C重油	700	440	260	159.1%
	(内 電力C重油)	453	133	320	341.5%
	計	5,363	5,401	△ 38	99.3%
中間留分輸出	軽油	45	98	△ 53	46.1%
	灯油/ジェット	0	19	△ 19	0.0%
	計	45	116	△ 71	38.7%
保税販売他	ジェット	437	371	66	117.8%
	C重油	129	150	△ 21	86.0%
	その他	255	123	132	207.5%
	計	821	644	177	127.5%
バーター・その他		1,968	2,161	△ 193	91.0%
総販売数量		8,197	8,322	△ 125	98.5%

【1】原油コスト・原油処理量・稼働率

		12年度1Q	11年度1Q	前年比	
受入原油	原油(FOB) \$/BBL	116.45	111.96	4.49	—
	為替レート ¥/\$	81.48	82.05	△ 0.57	—
	受入原油代(税込) ¥/KL	63,057	61,188	1,869	—
原油処理	原油処理量千KL	5,604	4,895	709	114.5%
	トッパー稼働率(CD)	61.0%	53.3%	7.7%	—
	トッパー稼働率(SD)	84.3%	85.3%	△ 1.0%	—

※SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

【2】原油生産数量

		12年度1Q	11年度1Q	増減率	出資比率
開発会社 生産数量 (B/D)	アブダビ石油	21,246	22,796	93.2%	63.0%
	カタール石油開発	7,562	5,307	142.5%	75.0%
	合同石油開発	12,156	11,655	104.3%	45.0%

※生産量: プロジェクト会社の期中平均生産量。(各社12月決算会社のため生産期間は1-3月)

12年度1Q実績 前年同期比

単位:億円

12年度1Q実績	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
石油事業	7,363	364	△ 356	△ 549	△ 388	△ 572	△ 175	△ 133
石油化学事業	71	8	1	△ 2	△ 11	△ 25	△ 11	△ 25
石油開発事業	222	23	142	24	177	45	177	45
その他	151	36	△ 1	2	2	3	2	3
調整額	△ 250	△ 27	0	15	1	16	1	16
合計	7,557	404	△ 214	△ 510	△ 219	△ 533	△ 6	△ 94

※ 石油事業の在庫評価影響額は△213億円(前年同期比△439億円)

グループ会社(セグメント別)

石油事業	: コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ他
石油化学事業	: コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)、Hyundai Cosmo Petrochemical(持分法適用会社)
石油開発事業	: アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他
その他	: コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス、エコ・パワー他

設備投資・減価償却費等

単位：億円

	12年度1Q実績	前年同期比
設備投資	94	37
減価償却費等	114	△ 11

設備投資 セグメント別

単位：億円

	12年度1Q実績	11年度1Q実績	前年同期比
石油事業	67	21	46
石油化学事業	2	1	1
石油開発事業	27	31	△ 4
その他	1	1	0
調整額	△ 3	3	△ 6
合計	94	57	37

【1】人員数推移

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度1Q
石油単体	1,718	1,916	1,957	2,064	2,180	2,135	2,025	1,982
グループ	3,451	3,335	3,299	3,269	3,325	3,268	3,098	3,035

※各年度3月末時点

※グループ:(08年度まで)石油単体+出向 (09年度以降)石油単体+出向+試傭員+シニア社員

【2】油槽所数推移

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度1Q
DT数	38	38	38	38	36	35	35	35

【3】運営者別SS数推移

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度1Q
販社	1,190	1,122	1,104	1,023	1,025	967	939	934
特約店	3,361	3,237	3,021	2,890	2,743	2,642	2,559	2,532
固定式SS計	4,551	4,359	4,125	3,913	3,768	3,609	3,498	3,466
可搬式SS	95	57	53	47	43	36	34	33

※05年度までは12月末時点とし、06年度からは3月末時点

【4】セルフSS数推移(固定式SSの内数)

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度1Q
販社	370	463	507	551	575	548	570	570
特約店	256	326	360	404	429	455	437	438
合計	626	789	867	955	1,004	1,003	1,007	1,008
セルフSS数比率	13.8%	18.1%	21.0%	24.4%	26.6%	27.8%	28.8%	29.1%

【5】コスモ・ザ・カード枚数推移(06年度よりオーパスも含む数値)

(万枚)

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度1Q
有効枚数	255	280	305	335	357	367	381	387

12年度通期セグメント別予想(前年比)

単位:億円

12年度予想	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
石油事業	32,600	2,044	375	247	300	220	300	472
石油化学事業	480	186	10	1	25	4	25	4
石油開発事業	980	104	630	112	660	140	660	140
その他	850	134	20	5	30	1	30	1
調整額	△ 1,410	△ 65	△ 75	△ 41	△ 75	△ 39	△ 75	△ 39
合計	33,500	2,403	960	324	940	326	940	578

原油・為替前提

受入原油価格(通期) : 115.0\$/B 為替(通期) : 80.0円/\$

感応度

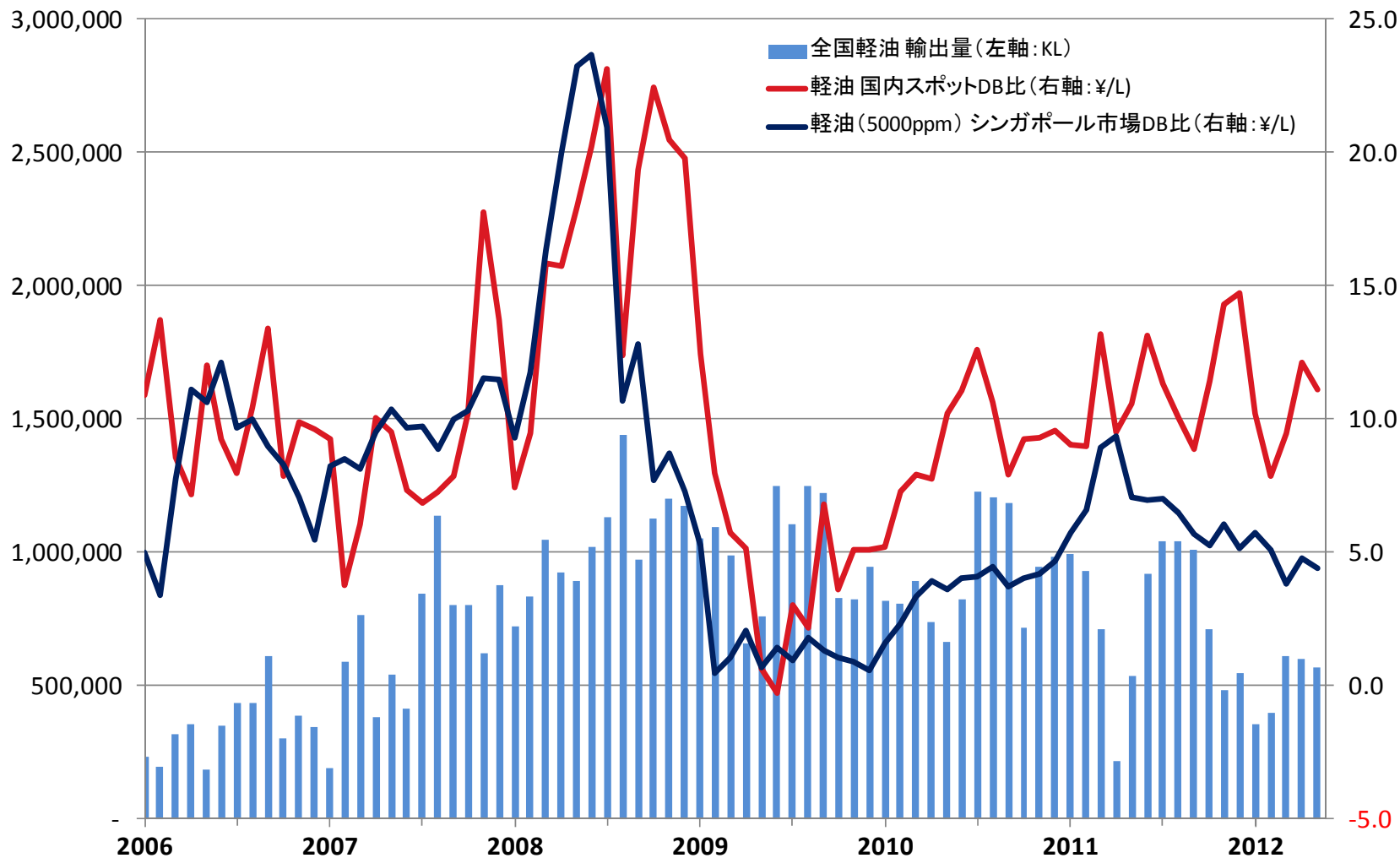
感応度

	石油事業	石油開発事業
原油 +1 \$/B	+12 億円	+6 億円
為替 +1円/\$	+17 億円	+8 億円

※上記は原油価格・為替変動の在庫評価益、自家燃コスト、タイムラグに対する影響(低価法の影響は考慮せず)

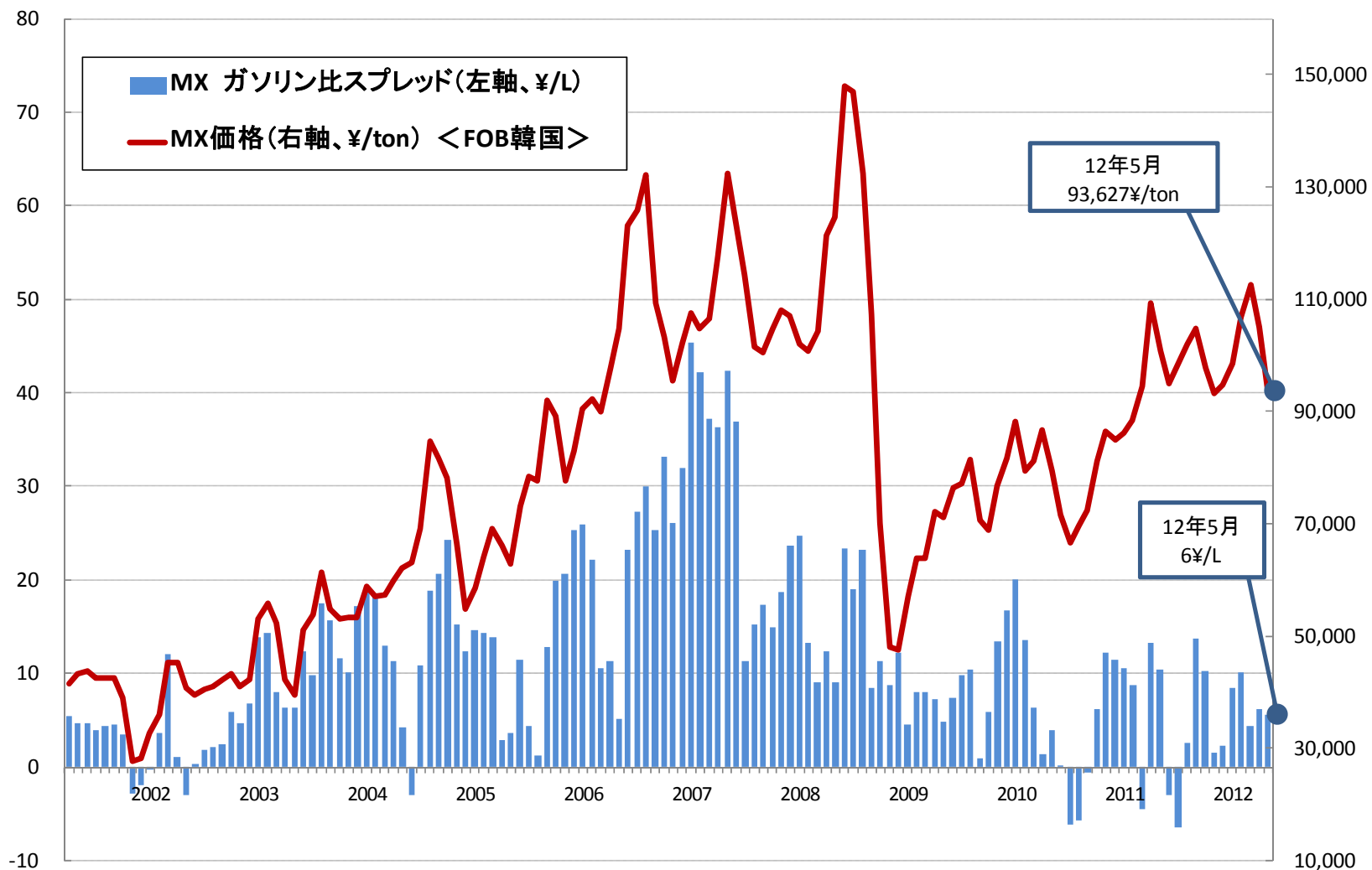
※当感応度の期間については石油事業が2012年4月～2013年3月までの1年間、石油開発事業が2012年4月～12月の9ヵ月間で試算した数字

軽油の輸出量と国内／海外マージンの推移

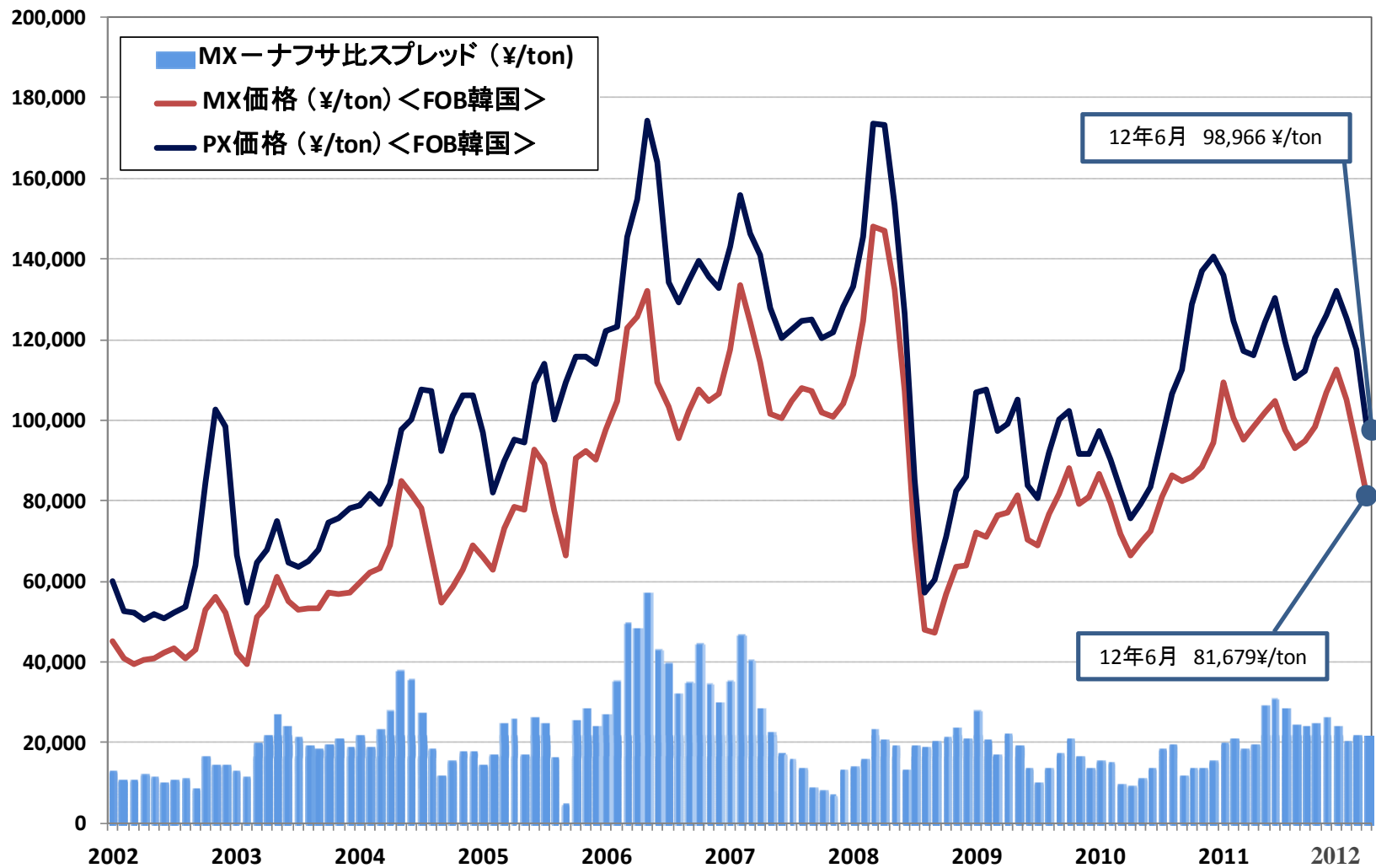


※輸出量実績の公表データは2012年5月が最新情報

【MX市況】 MX-ガソリン比スプレッドの推移



【PX・MX市況】 MX－ナフサ比スプレッドの推移



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。